

令和5年(2023年)度 事業報告書
(2023年4月3日～2023年11月30日)

I 事業の趣旨

ほくりくみらい基金は令和4年5月に準備委員会として発足し、全国コミュニティ財団協会の助成事業を受けて、地域のコミュニティ財団の設立準備を進めてきた。

近年多発する自然災害、人口減少、生き方や働き方の多様化など、環境も人々の価値観も、従来のしくみだけでは対応しきれないスピードで変容している。このような不確実な時代には、市民一人一人の効力感を引き出し、社会参加を促すことが社会全体のレジリエンスを高めることにつながる。

現在、市民団体などによる課題解決への挑戦が石川県内で多く芽生えており、この動きをさらに大きな社会的インパクトにつなげることを目指し、課題解決の認知、共感、解決への参加を促進し、さらに地域内の資源循環を進めるべく、以下の事業を実施した。

II 重点事業

- 1 基金の普及啓発と運用資金の調達
- 2 基金運営のノウハウの蓄積
- 3 事務局体制の整備と充実
- 4 基金活用事業の募集と支援の研究
- 5 公益認定手続き

III 実施事業

1 基金の普及啓発と運用資金の調達

【趣旨】安定した基金運営を行うために基金の設立趣旨や、運用目的などを広く普及啓発を行うことで、市民の理解度を高めるとともに、運用資金となる寄付金の調達を行う。

(1) 寄付者への訪問による基金運用の説明

- ・設立発起人を中心に、個人・企業へ挨拶回りおよび営業活動を行った。

(2) 地域づくり協議会やまちづくり活動団体への説明

- ・未実施

(3) 商工会青年部や青年会議所などとの連携

- ・未実施

(4) ホームページによる基金活動の情報発信

- ・ホームページにおいて、お知らせ13件、イベント記事10件、レポート記事8件を発信した。

(5) 市広報、チラシなどによる PR 活動

- ・団体紹介三つ折りパンフレットを作成した。

(6) 寄付金

- ・寄付を募り、総額297,350円となった。

(7) 助成金申請

- ・公益財団法人みらいRITA財団「YUIみらいプロジェクト ～ジェンダー視点のある地方創生採択団体」に申請し、2023年10月採択された。

助成期間:2024年1月から最長2年間(2025年12月まで)

助成金額:最大700万円

(8)事業受託

- ・視覚障害者の移動アテンドボランティアマッチング事業を受託。

(9)普及イベントの開催

- ・4月26日 設立発起人交流会
- ・5月25日オンラインイベント「助成金だけじゃない！コミュニティ財団と一緒にできること」
- ・11月28日ほくみギャザリングvol.1「これからの自治を話そう」

2 基金運営のノウハウの蓄積

【趣旨】基金運営のための組織や財務について調査研究し、適正な運用を図る。

また、社会的投資など基金運用における手法を内部で研修・蓄積することで、新たな基金運用に備える。

(1)組織経営と財務運用の実施

- ・ビジョン・ミッションを策定した。
- ・公益法人に求められる財務運用の整備を行った。
- ・組織経営に関する外部研修へ参加した。

(2)社会的投資、クラウドファンディング、地域通貨、休眠預金、寄附付き商品などの検討

- ・来年度の「事業指定寄付」開始に向けて、事例調査および検討を進めている。

(3)市民まちづくり事業の情報収集、事業内容の発信

- ・市民活動団体9団体にヒアリングを実施した。

(4)企業や金融機関との連携の検討

- ・設立発起人を中心に個人・企業へ挨拶回りおよび営業活動を行った。
- ・企業や金融機関へ挨拶回りおよび営業活動を行い、関係の構築をはかった。

(5)ソーシャルビジネス勉強会の実施

- ・来年度の実施に向けて企画中である。

(6)ふるさと納税の活用を検討

- ・公益化を受けて、所轄庁に相談予定である。

3 事務局体制の整備と充実

【趣旨】基金事務局の事務を細分化し、業務分担することで適切な基金運営を行う。

全国コミュニティ財団協会の助成事業により資金、ノウハウ、ネットワークでの支援体制を整える。

(1)事務分担の整備

- ・プロボノを受け入れ、業務の可視化と整理を実施した。
- ・上記をふまえ、分担に向けた業務フローの作成やツール整備を実施中である。

(2)資金管理、支援事業、組織体制の整備

- ・全国コミュニティ財団協会に伴走支援を受けながら実施中である。

4 基金活用事業の募集と支援の研究

【趣旨】基金運用に伴う支援事業の募集を行うことで、地域課題の解決に寄与していく。

また市民活動の情報を蓄積し、ウェブサイト上での情報発信を進める。

(1)助成事業の公募

◆「次のステップ」助成プログラム

- ・公募期間:2023年6月1日～2023年7月31日
- ・応募団体数:15団体→全4回のワークショップ「ほくみの学校」に参加
- ・申請期間:2023年11月1日～2023年11月30日
- ・申請団体数:12団体

(2) 助成事業選考委員会の設置と審査

◆「次のステップ」助成プログラム

- ・助成事業選考委員会設置：2023年11月28日設置（選考委員3名）
- ・審査会：2023年12月22日実施（予定）

(3) 助成団体への支援の実施と実績管理

◆「次のステップ」助成プログラム

- ・2023年8月～11月、市民活動団体が運営基盤強化と相互交流を図る全4回のワークショップ「ほくみの学校」を実施した。
- ・助成団体への支援は、審査結果確定後、随時実施予定である。

(4) 災害発生時の支援

- ・2023年5月5日に発生した石川県能登地方を震源とする地震に対し、5月9日・10日に視察を実施。被災した方々の困りごとや支援ニーズのヒアリングを行った。
- ・珠洲市社会福祉協議会など各関係者との調整を経て、ほくりくみらい基金では市役所・市社協に届いていない多様な復旧作業や困りごとについて、ボランティアのマッチングを実施した。依頼件数1件。

5 公益認定手続き

所轄庁（石川県）と調整を行い、2023年11月の石川県公益認定等審議会を経て2023年12月1日公益認定取得。

以上